



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
SAN'IN ダイバーシティ
推進ネットワーク

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

多様な力で 地域の未来をつくる

ダイバーシティを
山陰全体に波及

地域に根差し、国際的に活躍する女性研究リーダーを
持続的に育成し輩出する仕組みを構築します。



人とともに 地域とともに
国立大学法人
島根大学



公立大学法人
島根県立大学



独立行政法人国立高等専門学校機構
松江工業高等専門学校
National Institute of Technology, Matsue College



独立行政法人 国立高等専門学校機構
米子工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Yonago College



島根大学長
服部 泰直

島根大学は、島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校と共同で、2019年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の取組機関に選定されました。本事業では、4機関が連携して、地域に根差しつつ国際的に活躍できる女性研究リーダーを持続的に育成し輩出する仕組みを構築し、山陰全域の女性研究者の活躍促進を牽引します。また、この事業を着実に実施できるよう関係機関による連携・協力体制を構築するとともに、広く地域の知見を集め、地域・全国へ情報発信していくために「SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク会議」を設立いたしました。

今後、幅広い分野から協力を得てネットワークを拡充し、積極的な情報発信を行うことにより、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引し、活力にあふれる地域づくりを先導していくことを目指します。皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



島根県立大学理事長兼学長
清原 正義

島根県立大学はダイバーシティの推進に強い関心を持って取り組みます。今回の島根大学を代表機関とするダイバーシティ推進事業に松江高専、米子高専とともに参加し、一層の努力をする所存です。本事業はもともと女性研究者の裾野を広げ、女性研究者のキャリア支援が主な目的ですが、島根県立大学は女性教員の全教員に占める割合は48.5%であり、国公立大学の平均を大きく上回っており、裾野の拡大では一定の成果が出ています。現在の課題は、女性研究者が抱える様々な課題、子育て、介護等の支援協力体制の整備などワークライフバランスの確立、および大学の様々な分野での女性活躍の推進です。とりわけ、喫緊の課題は管理職への女性の登用ですが、この課題は教員、職員共通の課題だと考えています。もちろん、女子学生の受け入れの一層の拡大とキャリア教育の充実も欠かせません。ダイバーシティは女性研究者支援に限りません。島根県立大学はダイバーシティの推進に総合的に取り組んでいきます。



松江工業高等専門学校長
平山 けい

地域の皆様方には日頃多方面にわたるご支援御協力を賜り心より感謝申し上げます。本ウェブサイトをご覧ください誠に有難うございます。

働く母親や若者にとって山陰の良さとは何でしょう。暮らしやすい子育てしやすい環境であること、そのための行政の仕組みが整っていることなどもあげられます。また、地域に息づく文化・伝統は他には類のない貴重なものばかりです。しかしながら、山陰の人口流出は留まるところを知りません。

この様な中、山陰に大きく関わる4つの高等教育機関が知恵と力を合わせ、連携して広義の意味での地域活性化と地域貢献を目指し山陰のダイバーシティを推進します。また、各機関に所縁のある地元企業のカモお借りしながら山陰で働く女性や若手の研究者・技術者を増やしていくことで、地域活性化につなげます。異なる人材育成を担う4つの高等教育機関が協力・連携していくことでさらなる多様性を原動力として山陰地方のダイバーシティ発展に少しでも資することが特徴であり、狙いです。本事業に関して皆様方のご理解と御協力をお願いいたします。



米子工業高等専門学校長
寺西 恒宣

米子高専は、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引するこの事業において、鳥取県内へ連携を広げる役割を担いながら、地域のダイバーシティ推進に取り組みます。特に、本事業をきっかけに、主として以下の3つの事項に取り組み、さらなる研究の連携と交流を広げ、優れた研究成果の創出につなげると共に女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進します。

① ダイバーシティ研究環境の整備強化

「SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク」に参画し、共同実施機関・協力機関の間で情報を共有し、取組の成果を広く発信します。

② 女性教員の積極採用と上位職登用

女性教員のキャリアアップを支援します。

③ 女性研究者の裾野拡大

本校学生が、大学教職員へ直接相談を行う場を提供し、大学院博士課程(後期)進学を選択肢とする女性人材育成を行います。

これらの取組をはじめ、今後も女性研究者の活躍を支援するとともに、多様化によるイノベーション創出に寄与する活動を継続いたします。



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク

事務局

島根大学 ダイバーシティ推進室

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
E-mail : kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

令和2年3月発行

事業の目的

島根大学は、文部科学省の2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の取組機関に選定されました。この事業は、女性研究者のライフイベントに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組、女性研究者の積極採用や上位職への積極登用など、女性研究者の活躍促進に向けた優れた取組を支援するものです。

島根大学は、島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校と連携して、地域に根差しつつ国際的に活躍できる女性研究リーダーを持続的に育成し輩出する仕組みを構築し、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引します。

本事業では、4機関が連携して、地域における協力機関の協力を得ながら、地域に根差しつつ国際的に活躍できる女性研究リーダーを持続的に育成し輩出する仕組みを構築します。また、4機関が中心となってネットワークを確立し、地域のステークホルダー間での対話を促進するとともに、本事業で得られた知見や成果を地域社会および全国に広く発信していきます。

これらの取組により、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引し、活力にあふれる地域づくりを先導していくことを目指します。

多様な機関が連携し山陰のダイバーシティを推進

2019年11月5日に、「SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク会議」を設立しました。このネットワークは、関係機関による連携・協力体制を構築し、山陰地方のダイバーシティのさらなる推進を図るとともに、広く地域の知見を集め、地域社会および全国へ広く情報発信していくことを主な目的としています。

今後、幅広い分野・セクターから協力を得てネットワークを拡充し、積極的な情報発信を行うことにより、山陰全域のダイバーシティ推進を牽引し、社会変革につなげていくことを目指します。

innovation 地域の活力に



ダイバーシティの推進が地域に活力を与える

より多くの女性が研究者として活躍できるようになるためには、大学だけでなく研究機関や民間企業の研究部門等にも研究者の活躍の場が広がり、多様な選択肢の中から研究を継続してキャリアを形成できる環境が整うことが望ましいと考えます。そのためには、専門性を発揮することができる魅力ある就業先を増やすことが必要です。

そのためのカギはイノベーション（新たな価値の創造）であり、イノベーションは、多様な人々の多様な知や視点が絡み合うことによってこそ生み出されるものです。ダイバーシティを推進することで、多様な力で社会的に大きなインパクトを持つような斬新なアイデアや発想が生まれ、さらにイノベーションによって地域に活力が生まれるのです。

本事業では、研究者や技術者、医療従事者を育成し、地域に人材を輩出している高等教育機関4機関が連携し、「イノベーションを促進し山陰の地に活力を取り戻す」ことを共通の目標として、ダイバーシティ研究環境の実現に取り組みます。

1 ダイバーシティ研究環境の整備強化

- 多様な構成員の「違い」を考慮した学内制度の整備
- 多様な構成員の意思を反映する組織運営
- ダイバーシティを推進する学内体制整備
- 「SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク」を通じた、地域のステークホルダーによる対話の促進

2 女性教員の積極採用と上位職登用

- 採用・昇任に関するポジティブアクションの強化
- 優れた応募者を確保するための工夫と改善
- 上位職登用を後押しする支援の充実

3 女性研究者の裾野拡大

- 女性研究者の新たなロールモデル提示
- 在学生向けキャリアデザイン支援
- IoT技術を牽引できる女性研究者のロールモデル育成
- 社会人女性のための研究キャリアデザイン支援

4 女性研究リーダー育成

- 研究リーダー育成プログラムの開発・実施
- 組織・分野の枠を超えた研究交流の推進
- メンターによる個人に寄り添った支援
- 看護職女性管理者を育成する教育プログラムの開発・実施